

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
04010106

1. 計画名称

建設産業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	順調	説明	いずれの課題も順調に推移している。
今後の重点化施策番号	2	説明	橋梁の維持は、点検結果に基づいて確実に修繕を進めていく必要がある。また、水道管・建物の耐震化は、いずれも生活に密着している。水道管については、更新を計画的に進めていかなくてはならない。建築物に関しては、所有者への一層の周知が必要である。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	にぎわいのあるまちづくりの推進	順調	2018年中の市内人口の社会増減をみると、87名と社会増加であった。市・商工会議所・宅建協会等で共同設立した「田舎暮らし楽園信州の協議会」における移住促進事業の情報発信等の取組が、この成果に貢献していると考えている。「楽ちの」と連携した取り組みを継続したい。	全国の自治体でセミナー・ツアーなど同じ取組が進んでいる。今まで通りの情報発信では埋没してしまうため、新たな切り口での情報発信が必要である。	情報発信の手法について、移住希望者に適切に情報が届くように、SNSを含めて研究・調査する。
2	豊かな自然を活かし環境に配慮した災害に強いまちづくりの推進	順調	①今年度に5ヶ年かけて行ってきた504橋の橋梁点検が終了した。 ②北大塩中区配水池～埴原田配水池への送水管工事、中央病院への送水管工事を実施。 ・北大塩中区配水池築造工事を実施。 ③耐震診断、耐震改修申請に対する補助。広報・啓発	①計画を見直す必要がある。レベル3以上(修繕が必要)の橋梁が47橋ある中、橋梁修繕費の確保が難し。②全管を整備するには年数が必要であり、今後は法定耐用年数を超える管路が増える傾向にある。③より効果的な周知・啓発・区・自治会レベルでの集落懇談会実施	①今後、レベル3からレベル2(経過観察)まで修繕し、長寿命化を図っていきたい。②他事業との計画を整合することで、よりコスト削減を図り事業費をおさえていく必要がある。③耐震対象者に対し、戸別訪問の代わりにDM発送。 ・重点地区(ちの・宮川・金沢)での集落懇談会実施
3	地域を支える建設産業の育成、人材育成確保	順調	・制度周知等により、研修会等受講に積極的に取組む事業者からの交付申請があり、実績のなかった前年度と比べ、実績増となった。計画的に人材育成等に取組む事業者支援となっている。	・人材育成等支援は補助金交付件数や補助金交付事業所を増やしていく必要がある。	・人材育成等支援は引続き制度の周知に努め、補助金交付件数や事業所数も増やしていきたい。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称 第1回建設産業振興ビジョン推進部会	開催回数 1 参加延べ人数 10	セミナー・ツアーに参加する年齢層について	セミナーやツアーへの参加者は、若年層が増えつつある。今後も、地域や産業の担い手不足の解消のために人口の社会増加を目指していきたい。
関連市民団体等名称 産業振興ビジョン推進委員会	開催回数 1 参加延べ人数 14	特になし	
関連市民団体等名称	開催回数 参加延べ人数		

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」